



旭山の麓、平柴の里より元日の長野市を望む

館報 平柴台

発行
平柴台公民館
発行人
村田 章子
印刷所
(有)丸山印刷



風土に息づく伝統行事
年神様を送る
どんど焼き
(1月14日)



広報チラシ



子供達代表による点火



3団体代表による神事



元旦に新年を運ぶ郵便局の賀状配達



公園のソメイヨシノの老木伐採と枝垂れ桜の剪定整備



U字溝の埋設

五十年の節目
平柴台発足から半世紀、公民館改修工事（八月完成前号で掲載）に引き続き地域の要望事項を実現する
グランド階段手摺工事と

一年を振り返って

自治会長 大日方正道

新型コロナウイルスの感染も落ち着き、今年度の事業としてましては、前年度からの引き継ぎ事項であります公民館の耐震工事、周辺の整備、道路の補修、桜の木の根による擁壁のひび割れの補修及び桜の木2本の伐採、しだれ桜3本の樹形と剪定、そして開閉しづらかった書棚の戸車の交換などでした。

大雨によってコンクリートの蓋が外れる事が、今年度も起きました。再度、市に対策をお願いしてあります。また間違ったごみ出しの件では、何度か回覧で注意喚起をしました。ごみのカレンダーを見て、間違いがないかよく確認をしてから出してほしいものです。

年明けの元日に最大震度7の大規模災害が発生した能登半島地震、その翌日には羽田空港で、日航機と海上保安庁の航空機が衝突した事故があり、災害をいかに最小限に留められるか考えさせられた年明けでした。

一年間

ありがとうございました

公民館長 村田 章子

令和五年度もまとめの時期が近づいてきました。今年は、ここ数年吹き荒れていたコロナ感染症の嵐がほぼ収まり、滞っていた公民館活動が再開された年でした。

にぎやかに開催された夏祭り。子どもたちの歓声と地域の方々の和やかな笑い声に、ああ平柴台に元気が戻ってきたなと嬉しくなりました。

秋の研修旅行には三十人もの方々にご参加いただき、爽やかな秋空の下、芸術の秋を堪能することができました。また、安茂里地区スポーツ大会でマレットゴルフ優勝という嬉しい結果もありました。十分とは言えなかったものの、公民館活動が地域の和や元氣のために、少しでもお役にたてたかなと感じております。

皆様のご協力に感謝いたします。今後の公民館活動がますます活発に続いていきますことを祈念しております。



一年間を振り返って

育成会長 鈴木 愛美

今年度、初めての育成会会長を務めることになり、不安な気持ちもありましたが、皆様の協力の元、無事育成会の行事を終えることができほつとしています。

小学生7人と、とても少ない人数での活動は、寂しく、できることも限られますが夏休みのラジオ体操には、杏寿会の方々が参加して下さり、活気ある1日をスタートすることができました。夏祭りでは地区の親戚のお子さんやお孫さんの手伝いもあって、数年ぶりのお神輿を担い巡行することができました。役員の方々が用意して下さったスイカ割りやヨーヨーつり、綿あめなど、久しぶりの夏祭りには子供達にとって夏休みの楽しい思い出になったと思います。その他の行事におきましても、地域の皆様、会員の皆様にご指導い



夏の日の思い出（夏祭りから）

ただきながら何とか活動することができたことをお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

杏寿会のこの一年

会長 横山 悟

平柴台杏寿会は、現在は男性が22人、女性は多く30人です。年齢ごとに友人が少なくなっていくことを気にするお年寄りが多く、何とか友達作りを、と入会する人が多いようです。

長いコロナ禍を経てようやく皆が集まりやすい時期となってきました。久しぶりに11月16日に20数人が須坂の温泉旅館にそろいました。5年ぶりのことです。時間は短かったですが、酒宴が進むにつれて会場は盛り上がり、ほぼ全員がカラオケで自慢のものを披露しました。こういう集まりで私はいいと思います。

人それぞれですから、いろいろ言いませんが、せめて同じ地域に住んでいるのですからいろいろなお付き合いがあつていいと思います。いつでも入会を受け付けます。自分の個性を発揮できる場として、老人クラブにお集まりください。きっと何か得るものがあると思います。

のばそう健康寿命

秋の一斉掃除と
防災訓練 行われる

(令和5年11月9日)

年2回行われる地区の大掃除、今年も春に続いて秋の掃除が行われました。ほとんどの木々が落葉となり、落葉に冬の訪れを感じる日となりました。



引き続き行われた防災訓練は安茂里消防分署から2名と平柴消防団員の人達の指導のもと防災訓練をし改めて防災への関心を高めることができました。



研修旅行再開

晩秋の県立美術館で 文化芸術に浸る



県立美術館前で参加者に
挨拶する村田公民館長

長野県立美術館

前身の信濃美術館は1962年に始まり、1969年に県に移管され県立美術館となる。2021年長野県立美術館としてリニューアルオープン

東山魁夷館

画伯より作品寄贈により1990年開館、2019年リニューアルオープン



落ち葉にしみる晩秋の城山・新装なった県立美術館前で思い出の記念写真

公民館主催の研修旅行は三年の間コロナ感染症対策のため取りやめていましたが、本年度は11月5日再開されました。当日は天気もよく晩秋の風に乗り、30名参加のもと楽しいひと時となりました。

池田満寿夫の 芸術に触れた 研修旅行

公民館教養部長

木村 公男

コロナ感染症の5類への移行に伴い公民館の研修旅行も久しぶりに実施することができました。11月5日、30名の希望者の皆様と新しくなった「長野県立美術館」で芸術鑑賞をしてまいりました。

美術館ではちょうど長野市出身の芸術家池田満寿夫の創作の歩みの特別展が行われていました。会場の一角には、池田さんが米・ニューヨーク近代美術館で開いた個展の作品も展示されており、池田さんのスタイルを模索しながら世界に羽ばたいていく過程を感じ取ることができました。幻想的な霧の彫刻や東山魁夷画伯の心洗われる日本画の世界にも触れ、芸術の秋を堪能する心豊かな一日となりました。

参加者の皆様からも「いい企画だった。」との声を頂き係ともうれしい一日となりました。

交通安全教室開かる

(令和5年9月16日)

「守ろう交通ルール・気をつけよう特殊詐欺」

今年も長野市からお迎えした2名の講師の方は、寸劇・腹話術を交えながら、交通安全・特殊詐欺への注意を滑らかな語り口でしてくださいました。

特殊詐欺は、その手法も「オレオレ・架空料金請求・還付金」と、色々あるようで……。

私は大丈夫ではなく、私も気をつけなければという気持ちを忘れず日々過ごすことが大切であるということとを改めて心に誓いました。



第49回安茂里地区スポーツの祭典 マレットゴルフの部で優勝



令和5年10月15日(日) 平柴台区はマレットゴルフクラブが参加。前夜からの雨のため決行か順延かと気を揉んだにもかかわらず、さすが選抜された4名。見事ホールにカップイン。平柴台区チームは見事優勝。V2を達成しました。

優勝請負人

(峰村敏文・滝沢利幸・笹川信義・藤澤清文の各氏)

生涯学習の一年

公民館活動の一環として地区内の団体に支援対象として毎年活動の助成をし側面から応援しています。本年度の活動状況と来年度に向けての声を聞きました。

囲碁クラブ

代表 小林 俊規

囲碁クラブは毎月第二土曜日と第四土曜日の九時から三時間ほど公民館で対局をたのしんでおります。現在の会員は六名で棋力は安茂里の甘い特例基準で七段から二級で多彩です。碁石を並べてみませんか。初心者歓迎です。

平柴台スポーツクラブ

代表 鈴木 明彦

2023年度は新型コロナウイルスが5類となり、ようやくコロナ禍以前のように野球を通して平柴台地域の皆様と親睦を大きく深めることが出来たと思います。新年度もより多くの皆様のご参加をお待ちしております。

平柴台歌おう会

代表 小山征一郎

「歌おう会」は第4水曜日、現在は8名で2部合唱を中心に歌っています。2つのパートが心地よくハモット時は思わず拍手がです。母さんの歌など故郷の曲を持ち歌として増やしていきたいです。歌の好きな方乞うご参加を。

平柴台マレットゴルフクラブ

平柴台マレットゴルフクラブは、月2回の練習をおこなっています。10月にはスポーツの祭典に代表チームが参加し、2連覇を果たしました。16名のメンバーには初心者もいるのでなたも気軽に参加できます。(峰村より子)

平柴台カラオケクラブ

代表 小山征一郎

カラオケは、認知症の予防など様々な効果があるなどで注目されています。当クラブは、はじめてもいい、楽しく元氣よく歌おうをモットーに活動しています。あなたも仲間に入りませんか。



カラオケクラブ練習風景

手しごとサークル

代表 駒村 京子

「楽しくひと時を過ごす幸せ」
アクセサリー、干支の飾り物、袋物、編物、皆それぞれに見たり聞いたり、アドバイスをしながら、何とか納得出来る作品を目指して楽しんでいます。



手しごとサークルの作品



平柴台健康マージャンクラブ

代表 横山 悟

六年ほど前に有志でスタート。現在は10人ほどで楽しんでおります。毎回、2卓で囲んでいます。実力もさることながら、運を運ぶ判断も試される麻雀は奥が深く、多少の緊張も呼び、年配者には格好の時間つぶしです。

新成人を祝う

本年は全国で106万人の成人が誕生しましたが、平柴台では左記の人が大人の仲間入りをしました。

石井 悠貴 (一組)
大日方 蒼空 (三組)
小林 玲菜 (九組)



安茂里成人式会場にて

編集後記

能登半島を襲った地震は各地に大きな被害をもたらしましたが、私達も怖い思いをししながら新年を迎えました。そんな中本年度最後の公民館報が出来上がりました。

一年が瞬く間に過ぎ、行く川の流れの様でしたが、多くの方々のご協力により役目を果たす事が出来ました。本号が未来永劫に続く平柴台の歴史の一助に成ればと願っております。